

# 例会報告

第2473回例会報告議事録

日時 29年4月18日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ビジター：なし

ゲスト：相原秀行様(終活カウンセラー)

S.A.A.：高島会員

## 会長挨拶

鈴木会長



木村さんにおととい電話しましたところ、ずっと抗生剤等の点滴で治療をしていて、今はほとんど痛みはなくなり熱も下がったそうです。近々に我孫子の方に帰れるそうですが、もう1、2週くらいは例会に出られないとのことでした。

先週の土曜日に米山奨学会の初顔合わせに行きまして。陳徳思(チン・トクシ)さんという、とても明るくて元気そうな印象のチャームな女性でした。26歳で、中国の浙江省(せつこうしょう)出身です。麗沢大学の経済研究課の修士課程で口コミ情報の消費者行動への影響分析をしていらっしゃいます。

陳さんの指導教官の大場先生が素晴らしい方で、「陳さんは研究に対する目的意識が高く、情熱があり、着実に研究を進める真摯な態度を示している。また、コミュニケーション能力があり、多くを語らずとも相手が何を求めているのか正確に把握し洞察する力がある」と陳さんを高く評していらっしゃいます。

どんな方か皆で楽しみにお待ちしております。まず、例会で名札を配る仕事をしてもらって、一人一人と面識を持ってもらおうと思っています。4月から毎月14万円の奨学金が出ます。

ロータリー米山奨学会の願いは、留学生のお世話をすることによって、ロータリーを通して日本を知ってもらい、将来的に母国に帰るにしても日本に留まるにしても、国際間の友好の架け橋になってほしいというものです。今、北朝鮮や中東の問題もいろいろありますが、そういうことを解決する一助になれる可能性も十分あると思います。平和で友好的であることは大事です。そういう人のお世話をすることを狙いとしています。

今日は終活コンサルタントの相原さんに卓話をさせていただきます。

ありがとうございました。

## 親睦委員会報告

小池会員(代理)

今日は特にございません。

## 桜の近況

米田会員



一週間くらい前に船取線を通りかかったら、上の方がピンクになっていました。

ちょっと太り過ぎかなということで、2、3日くらい前から朝にジョギングやウォーキングを兼ねて手賀沼公園を散歩しているのですが、日曜日にはまたもう少し咲いていました。少し濃いピンクです。

## 姉妹クラブ委員会報告

塩毛委員長



先日、45周年記念式典のことでアラモアナからメールが届きました。式典の名簿を作るので、参加者の名前(ローマ字、漢字)、2017-2018年度の役職名、宿泊ホテル名を5月19日までに送らなければなりませんので、ファックスかメールで私の方までお知らせください。

## 出席報告

鎌田委員長

20名出席(全員で27名) 出席率74.07%

欠席者が7名。

業務の為:石原会員、伊東会員、上村会員、松本会員

病気療養のため:木村会員、澁谷会員

旅行のため:瀧日会員

## 北海道への暑気払い旅行について

今井会員



今年も札幌の方に7月6日(木)~8日(土)に2泊3日で暑気払いに行ってくださいと思っています。今のところ参加者は10名です。他にご都合がつく方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。

## 幹事報告

村越会員 (代理)



- ・来週の25日の例会は27日(木)の第10分区の合同例会に振り替えます。昼間は藤ヶ谷カントリークラブでゴルフ、夜はクレストホテルで合同例会です。ゴルフは午前7時30分集合です。我孫子からは8名参加予定です。例会は午後6時点鐘です。
- ・22日(土)に来年度の地区研修協議会が幕張で行われます。米田会員と依田会員が車を出してください、皆様のご自宅もしくは近くまでお迎えに上がります。
- ・50周年記念の桜の植樹祭の写真が残っておりますので、参加された方で写真をもっていない方は事務局までお申し出ください。
- ・ロータリー財団100周年記念チャリティーコンペが5月31日(水)に久能カントリークラブで行われます。プレー代20,000円、エントリー費3,000円です。ご希望の方は事務局までお申し出ください。
- ・柏南RCより駐日スリランカ大使歓迎記念講演会への参加依頼が来ています。5月17日(水)麗沢大学にて午後3時30分からです。参加ご希望の方は事務局までお申し出ください。

## 相原秀行様のご紹介

依田会員



今日の卓話は終活についてのお話です。終活コンサルタントの上級の相原秀行さんをお願いいたします。どうぞよろしく願いいたします。

## 卓話「終活について」

終活カウンセラー 相原秀行 様



私は我孫子市在住で10年目に入ります。学生を終えてからは長年、旅行会社で働いていたのですが、ある機会があり、お葬式に関わる仕事をするようになりました。葬儀会社等の勤めを経て、2014年12月から終活コンサルタントとして開業しております。我孫子市、柏市を中心として東京、埼玉、千葉県、神奈川、茨城の南等フットワーク軽く、ご相談やセミナー、お葬式の立ち会い等させていただきます。

終活という言葉は聞いたことがあっても、具体的には判らない方も多と思います。

「終活」という言葉は、平成21年に週刊朝日でこういったことについて連載され、生前にお葬式やお墓の準備をしておくことという意味あい使われて生まれた言葉です。

ここ最近、テレビや雑誌で特集をよく組まれるようになったので、皆さん、なんとなくはご存知なのではないかと思っております。

所属している一般社団法人 終活カウンセラー協会というところで上級カウンセラーの認定を受けております。そこでは終活を「人生の終焉を考えることを通じて、自分を見つめ、今をよりよく、自分らしく生きること」と定義しています。終活とは死ぬ為の準備ではないということをご理解いただければと思います。

終る活動と書くため、どうしても後ろ向きになってしまいがちなのですが、前向きに活動していただきたいと思っております。

ただ、セミナー等で終活のイメージについてのアンケートを取ると、お葬式、お墓、相続というトップ3が出てきます。が、この言葉が生まれた平成21年当初とは変わってきていて、お葬式、お墓、相続以外にも、生前整理、遺言、介護、不動産、年金や保険、健康に関すること等も含めて言

(改ページへ続く)

葉の意味の幅が広がっています。

大事なことはやり方ではなく、あり方です。たとえば、お葬式ですが、家族葬という葬儀をご存知だと思えます。葬儀会社で勤めていた頃に、家族葬を80名くらいで行いたいという方がいらっしやいました。

菩提寺がある場合は、そのお寺のご住職とご相談するケースも出てきます。菩提寺がある場合に、火葬だけを行う直葬を希望して、納骨だけしに菩提寺に行くと、葬儀を行わない場合は納骨は受け付けません、というケースもありました。

菩提寺があるなしで、行いたい葬儀の形も決まってきました。

どういう葬儀をやりたいか考えていても、家族が知らないと意味がありません。

費用に関しても、盛大にやってくれ、ということになっても、残る方がその費用をどうやって出すのかという問題もあります。

費用ですが、葬儀一式というのは各葬儀会社が設定するので内容はさまざまです。それ以外にかかるものとして会場費用があります。公営斎場や葬儀社が持っている会場で、費用は変わってきます。

宗教者費用とはいわゆるお布施のことで、だいたい20万円くらいから見ていただくとよいと思えます。菩提寺がある場合はお布施の金額が決まっていることもありますし、聞いても教えてくれないケースもあります。その場合はご相談いただければと思えます。

飲食費、返礼品については人数によって変わりますが、香典でまかなえるケースが多いです。

家族葬だから安い、というのは間違っているのかもしれない。

生きているうちに葬儀社に相談して見積りを取るのには、気が引けたり、バチあたりと思われたりするかもしれませんが、100%、いずれ経験することなので、元気なうちから考えることも大事だと思えます。

平均でいいです、普通でいいです、というのは避けていただきたいと思えます。どうしたいのか、どうありたいのか、というところを出していただきたいと思えます。

エンディングノートというのは、直訳すると最後の覚え書きです。内容としては、遺言書のように法的な効力はないのですが、大切な家族へのメッセージと捉えていただければと思えます。

エンディングノートは現在、書店に行けばいろいろな形のものがありますが、どのノートも同じようなことを記入できるようになっています。書く方が増えています。こういうものがあると、残った家族が気持ち的に楽になることが多いです。

エンディングノートとはどういうものかノートの最初に書いてありますので、簡単に読み上げます。

「介護や終末期医療、葬儀のことなど、自分の意志を家族に伝えられなくなった時に備えて書き記しておきます。これを機に自分史を作成するつもりで楽しみながら、場合によってはご家族と話し合いながら記入してください。すべての項目を記入する必要はありません。考えが変われば何度でも書き直してください。ひととおり記入し、自分の気持ちを確認したら署名して日付けを記入してください。変更した場合は日付けも変更してください。大切な個人情報を記入することもありますので、大切に保管してください。」

葬儀会社に勤めていた頃、連絡してほしい人とか、預貯金のこととか、書いて残していらっしゃる方も何名かいらっしやいました。そういう方のご家族とのお話は非常にスムーズに進むことが多かったです。ぜひ、エンディングノートを書くことから終活を初めて頂ければと思えます。

お渡ししたチラシに相談料1万円と書いてありますが、基本のご縁をいただいた方からは相談料は頂かないことにしておりますので、よろしく願いいたします。

簡単ではございましたが、終活についてお話させていただきました。本日はありがとうございました。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
鈴木会長	終活の話 感謝。	1,000円
荒井会員	相原さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤会員	本日夏日になるとの事。	1,000円
服部会員	あれから41年の結婚記念日を迎えました。	1,000円
藤本会員	相原さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
村越会員	相原様 卓話ありがとうございました。	1,000円
	当日計	6,000円
	今期累計	326,000円

第 10 分区 合同例会及び懇親会が開催されました。

2016-2017年度 国際ロータリー第2790地区 第10分区 合同例会及び懇親会が来賓に、星野順一郎我孫子市長、秋山浩保柏市長をお迎えして、4月27日、18時より、ザ・クレストホテル柏にて開催されました。



今週の表紙「レストラン かじ池亭」我孫子市日の出1521番地10号

天王台駅から車で約5分、NEC我孫子工場の脇にある高級レストランです。国道6号沿いの「かあちゃん」というお店が移転開業して「かじ池亭」になりました。四季折々の豊かな自然を満喫できる広い庭園があります。敷地内にあるかじ池には様々な野鳥が集まり、食後に広い庭を散策することもできます。メニューはあっさりした味付けのフレンチが中心で、落ち着いて、ゆっくりと食事をしたい時にぴったりのお店です。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



**森の町内会**  
間伐に寄与する紙  
[www.mori-cho.org](http://www.mori-cho.org)

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。